

## 8月24日は薬害根絶の日

# 薬害根絶は 私たちの薬局の目標です

1999年8月24日、厚生省は、薬害エイズなど悲惨な薬害を発生させた責任を反省し、薬害根絶のために最善の努力をする決意をこめて「誓いの碑」を建立しました。

それ以来、毎年、国や製薬企業が国民の命を大切にしているか、適切な安全対策をとっているか監視を続け、8月24日を「薬害根絶の日」として活動してきました。

## 今年のテーマは、イレッサ・タミフル・C型肝炎第二幕



### ●●● 薬害イレッサとは ●●●

イレッサは、イギリスに本社を置くアストラゼネカ社が開発した肺がん治療薬。2002年7月に承認申請後5カ月という異例の速さで承認されました。

「副作用の少ない夢の新薬」として大々的に宣伝されましたが、現在までに734人の副作用死が報告されています。

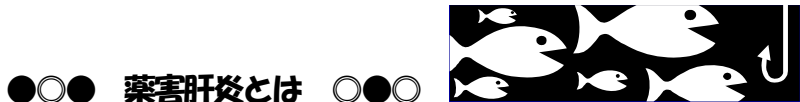
被害の救済を求める訴訟が進んでいます。医薬品の承認制度のあり方、宣伝広告・販売のあり方が問われています。



### ●●● タミフル薬害とは ●●●

インフルエンザの治療薬タミフルを服用した後、飛び降りなど異常行動で死亡した被害者の家族が救済を求めています。そのため2007年に、10代の子どもには使用禁止としました。

国は、小児科医による研究班を組織して研究をしてきましたが、研究者と企業との金銭関係が指摘されるなど、真相解明には国民の監視が必要です。



### ●●● 薬害肝炎とは ●●●

薬害肝炎とは、出産・手術などの出血に止血剤として使われた血液製剤により、C型肝炎にかかった事件です。被害者が裁判を闘った結果、国は責任を認めて和解できました。

訴えた原告だけでなく、350万人のウイルス性肝炎患者全員が救済される治療体制の整備、治療に伴う経済的負担の軽減など、私たちはこれからも恒久対策の実現を求めて活動します。

## こんなにあった日本の薬害

世界中のどこにもこんな国はありません。

1956 ペニシリンショック

1961 サリドマイド

睡眠薬サリドマイドを妊娠中に服用した母親から手足や耳に奇形をもった子どもが生まれた。被害児は世界で数千人。日本約千人。日本では、レントツ博士(ドイツ)の警告にもかかわらず、その後9カ月間も販売を継続、被害が倍増した。

1965 アンブルかせ薬

1967 ストマイ 抗結核薬ストマイで聴力障害などが多発

1970 コラルジル 心臓病薬コラルジルによる肝障害。被害者千人以上

1970 スモン

60年代から下肢の麻痺や視力障害などの末梢神経障害が多発。70年に殺菌剤キノホルムが原因と判明。被害者約12000人。1935年には副作用の警告があったのに、整腸剤として大量販売した。

1971 クロロキン 抗マラリア薬クロロキンによる視力障害。被害者千人以上。

1975 クロラムフェニコール

抗菌剤による再生不良性貧血が7年以上にわたり発生

1983 薬害エイズ

エイズウイルスにより汚染された血液凝固因子製剤により血友病患者約1800人がHIVに感染した。83年アメリカで安全な加熱製剤が使用されるようになってからも、日本では85年まで非加熱製剤の使用が継続された。

1988 陣痛促進剤

陣痛促進剤により、母子の死亡や重大な障害を残す被害が続いた。医療機関に対する危険性の情報伝達が不十分で、安易に計画分娩をすすめたことが原因。

1989 MMRワクチン 3種混合ワクチンにより死亡者や重い障害が発生

1993 ソリブジン 抗がん剤との併用で死亡者多数

1996 ヤコブ病

脳外科手術に使用したドイツ製のヒト乾燥硬膜がプリオンに汚染されていたため、100名以上がヤコブ病を発症し、植物状態の後に死亡。アメリカでは87年に輸入を禁止したのに、日本での使用禁止は10年遅れの97年だった。

詳しく知りたい方は

- ・ 全国薬害被害者団体連絡協議会 <http://homepage1.nifty.com/hkr/yakugai/>
- ・ 薬害資料館 <http://www.mi-net.org/yakugai/>